

## 4 さらなるごみの減量化の可能性に向けて!

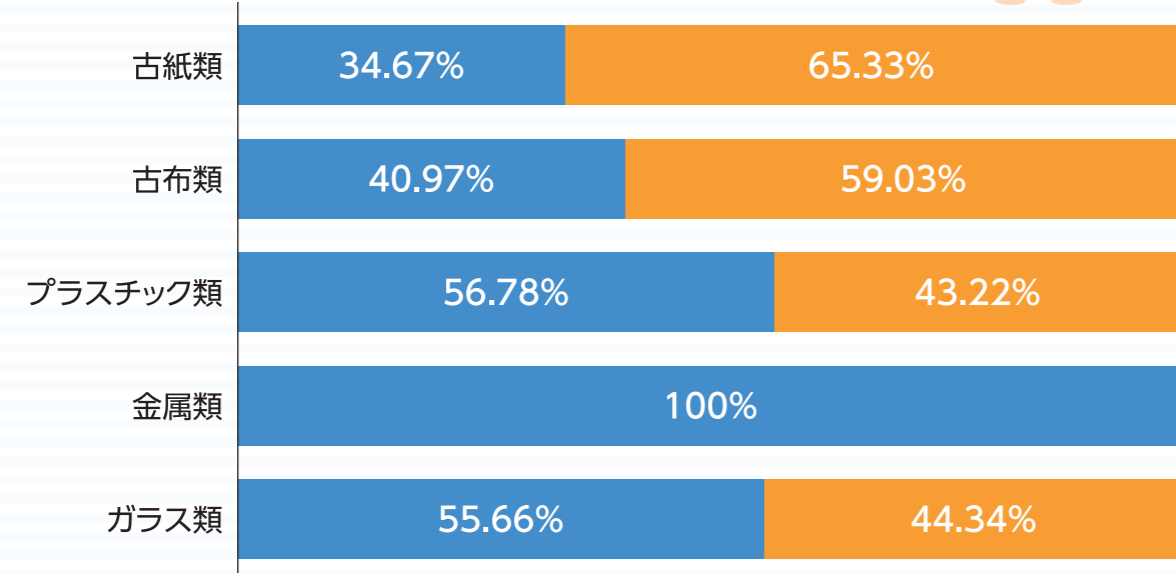
さらなるごみの減量化を進めるためには、それぞれに取り組む必要があります。  
 厨芥類(生ごみなど)にあつては、「必要分だけ買う」「使い切る」「食べきる」を実践することによる**食品ロス**への取り組み(リデュース)です。

紙類にあつては紙箱・包装紙等の紙製容器包装・封筒・パンフレット等の**雑紙**を、「紙ごみ」に分別排出(リサイクル)する取り組みです。

**プラスチック容器包装類**にあつては**マイバックの利用**や**使い捨て製品の使用の見直し**(リデュース)、「洗えるものはさっと洗って、汚れを取り除いて出す」ことによる再資源化の取り組み(リサイクル)です。  
 これらの取り組みにより、今後の家庭におけるさらなるごみの減量化、資源化を目指しましょう!

### 燃やすごみ中の資源化(リサイクル)可能物の割合

■ リサイクル可能 ■ リサイクル不可能



#### 《リサイクルできるもの》

- **プラスチック**：汚れの付いていない容器、豆腐や卵のパック、さっと洗った食品トレイ、発泡スチロール、**容器包装** 何も入れられずに捨てられたレジ袋、内袋として使用したレジ袋
- **空きカン**：アルミ缶、スチール缶(ジュース、ビール、缶詰、お菓子など)
- **小型家電**：携帯電話、タブレット端末等、ゲーム機、電話機、ファクシミリ、パソコン
- **紙ごみ**：紙製容器包装、紙パック、折ったまま捨てられた新聞紙、丸められていない広告



#### 【お問い合わせ】

京田辺市経済環境部  
 清掃衛生課  
 TEL: 0774-68-1288  
 FAX: 0774-68-1299  
 メール: seisou@city.kyotanabe.lg.jp

# さらなるごみの減量化、資源化を目指しましょう!



(家庭から排出されるごみの組成調査の結果を報告します。)

## 1 調査目的

本市では、ごみを減らし、資源を大切に利用し、循環型社会を実現するため、平成28年10月1日から新しいごみの分別区分をスタートさせました。

昨年度、さらなるごみの減量化、資源化の可能性を検討するめ、新しいごみの分別区分のうち、「燃やすごみ」への資源物の混入状況、「プラスチック容器包装」へのリサイクル不適物の混入状況などを調べました。



**きちんと分別**

## 2 調査の時期と調査方法

調査は、「燃やすごみ」、「プラスチック容器包装」を対象に、住居形態に配慮し、市内から6地区を選んで、平成31年1月末から平成31年2月初旬にかけて行いました。なお、今回調査したごみ量は、以下のとおりです。

	調査量			1袋当たりの重量・容積	
	袋数(袋)	重量(kg)	容積(ℓ)	重量(kg/袋)	容積(ℓ/袋)
燃やすごみ	307	907.33	7,158	※ 2.96	23
プラスチック容器包装	712	302.59	11,028	※ 0.42	15

※1袋当たりの重量は、小数点以下第3位を四捨五入しています。

収集したごみ袋は、ごみ袋を1個づつ重さと大きさを計量したのち、約70種類の項目に分けて、それぞれの項目ごとの重さと大きさを計量しました。



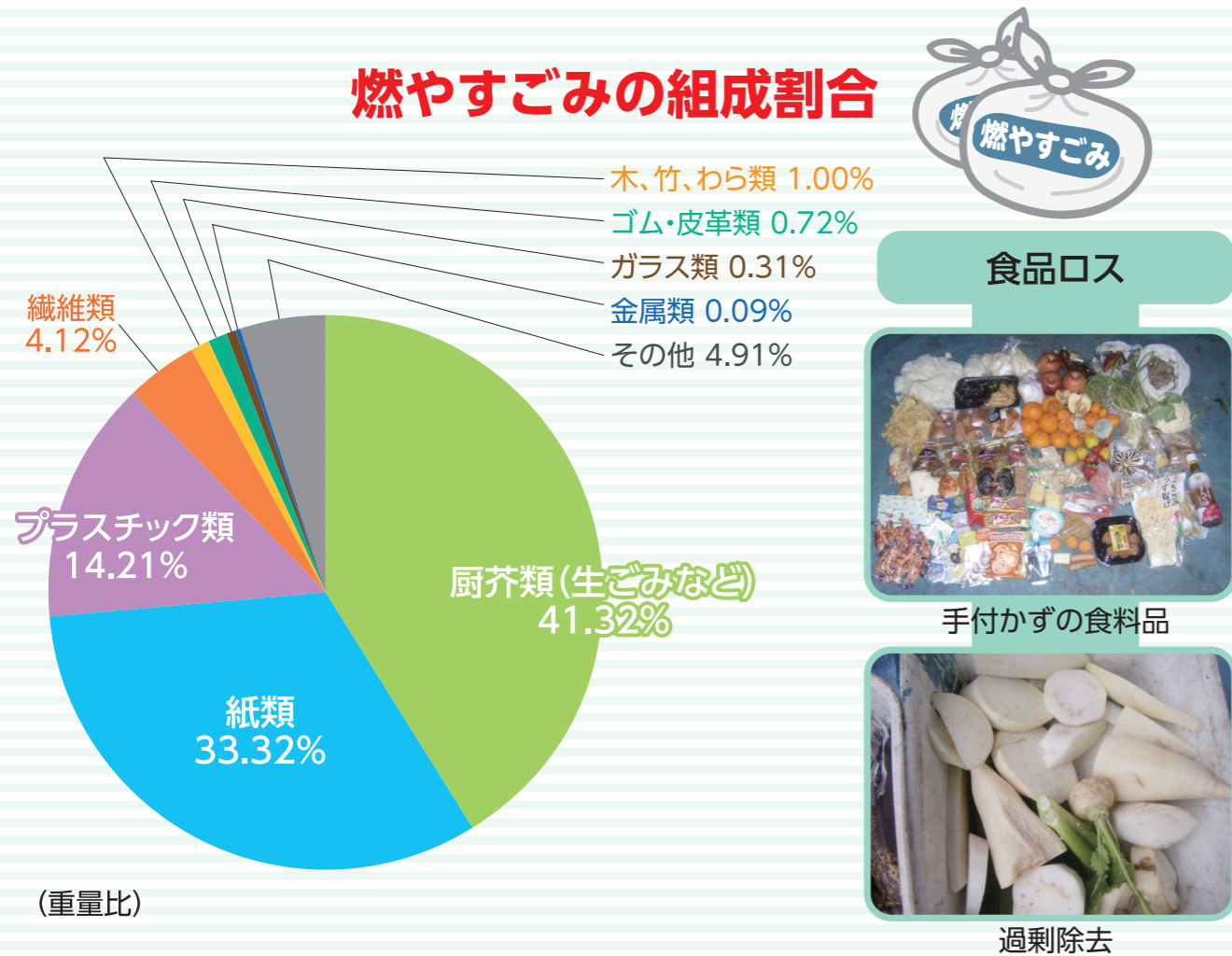
### 3 調査結果

## 生ごみが1番!、次いでリサイクル可能な紙と、プラスチック類!

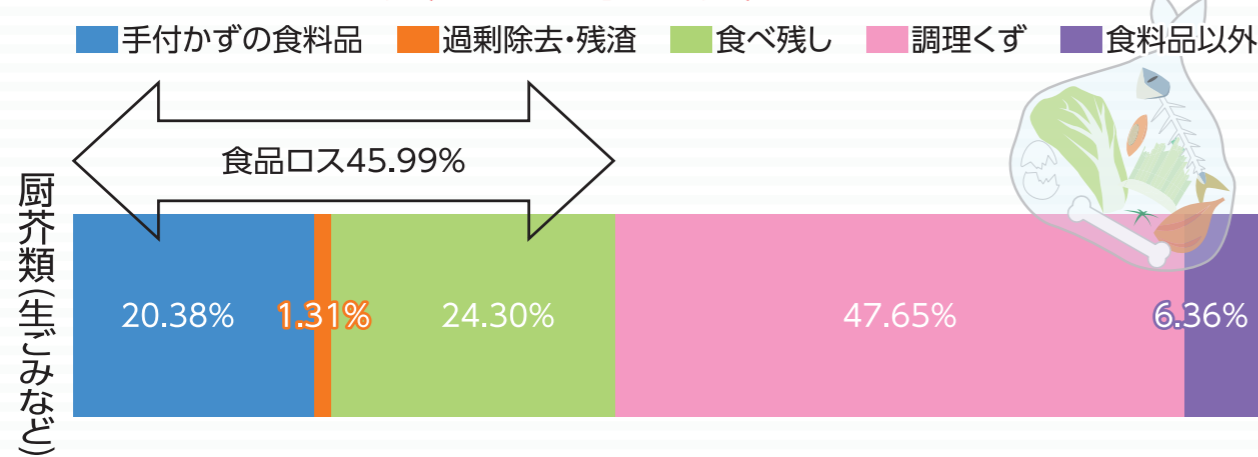
#### (1) 燃やすごみの組成割合

内訳としては、厨芥類(生ごみなど)が約41%と最も多く、次いで紙類が約33%、プラスチック類が約14%でした。

その中で、厨芥類(生ごみなど)のうち、食品ロス相当食料品(手付かずの食料品、過剰除去・残渣、食べ残し)が燃やすごみ全体の約19%あり、厨芥類(生ごみなど)のうちの約46%を占めていました。



### 燃やすごみ中の厨芥類(生ごみ)に占める食品ロス相当食料品の割合

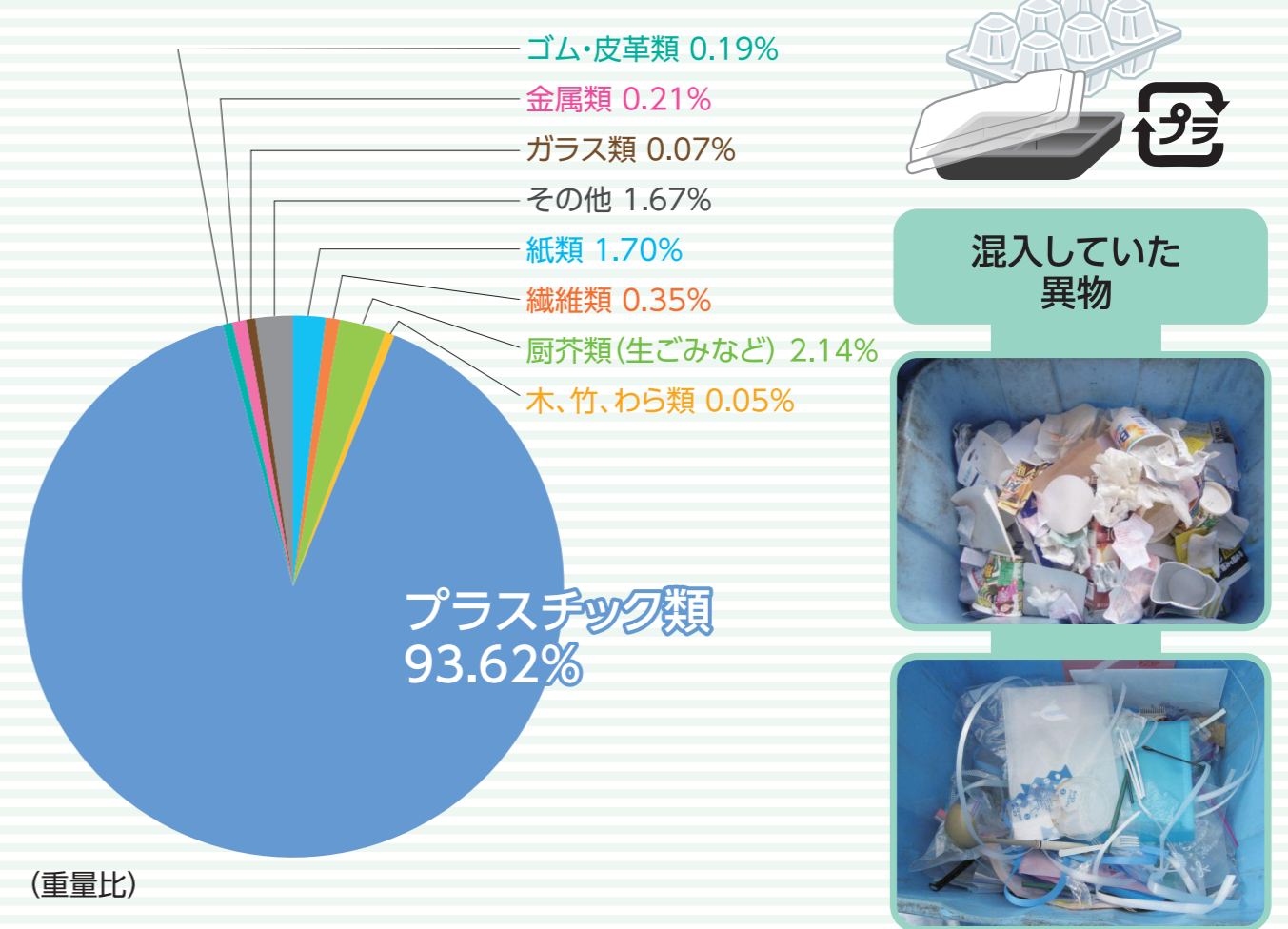


#### (2) プラスチック容器包装の組成割合

内訳としては、プラスチック類が約94%とほとんどを占めていましたが、厨芥類(生ごみなど)が約2%、紙類が約2%となっていました。

その中で、プラスチック容器包装全体の約12%がリサイクル不可能であり、プラスチック類に含まれています。

### プラスチック容器包装の組成割合



#### (3) 平成23年度調査結果との比較

燃えるごみ中に排出された資源化(リサイクル)可能物について、古紙類・古布類・金属類・ガラス類は減少傾向にあります。プラスチック類は増加傾向でした。

古紙類・古布類・金属類・ガラス類の減少については、新しいごみ分別区分が浸透し、市民の環境への意識が向上した結果であると考えられます。

プラスチック類の増加については、新しいごみ区分によりプラスチック容器包装が別途収集されているにもかかわらず上昇しており、多様化する商品等に使用されるプラスチック類の増加によるものと考えられます。

#### 燃やすごみ中に排出された資源化(リサイクル)可能物の排出状況

	古紙類	古布類	金属類	ガラス類	プラスチック類	合計
H23年度組成調査	19.61%	2.29%	0.25%	0.19%	6.39%	28.73%
H30年度組成調査	11.55%	1.69%	※0.22%	0.17%	8.07%	21.70%

※H30年度の金属類には組成割合のその他に分類されている小型家電を含んでいます。